

令和7年度 入学式 式辞

釜臥山の雪が日を追う毎に少なくなり、確かな春の訪れが感じられるこの佳き日に、御来賓の方々、保護者の皆様に御臨席いただき、令和七年度入学式を挙行できますことを心から嬉しく思います。

本日、晴れて入学を許可された189名の新入生の皆さん、本当におめでとうございます。教職員一同、心から歓迎します。

保護者の皆様、改めましてお子様の御入学おめでとうございます。ここまでの十数年間を振り返ったとき、保護者の皆様それぞれに様々な思いがあるだろうと御推察申し上げます。苦しいこと、辛いことも少なくなかったと思いますが、いつも正面から向き合い、大きな愛情でお子様を育てこられた皆様の喜びは一入だと思えます。ここまで本当にお疲れ様でした。そして、この田名部高校にお子様を入学させていただいたことに改めてお礼を申し上げます。

さて、新入生の皆さん、高校生活の中で、皆さんにやってもらいたいことが三つあります。

一つ目は、「目標を見つけること」です。ここには189名の新入生がいるので、目標も189通りあって構いません。誰かと同じである必要はありません。これからの高校生活の中で、勉強や部活動をはじめ、いろいろな活動や友達との交流を通じて、「自分の」、「自分だけの」目標を見つけてください。それぞれのペースで構いませんが、できるだけ早く見つけてください。そして、目標が決まったら、それを実現するために、「何をすればいいのか」を「自分で」考えて、努力を惜しまずに実行・実践してみてください。

二つ目は、「失敗を恐れないこと」です。目標に向かって努力を続ける中で、失敗することは何度もあるはずですが、でも、失敗を恐れて消極的になったり、そこで諦めてしまったりしてはいけません。諦めた瞬間に成長が止まってしまうからです。何度壁にぶつかっても諦めずに挑み続け、その「壁」を、「自分の限界」を超えることで成長することができるはずです。

田名部高校での3年間または4年間は、皆さんの可能性を広げる大きなチャンスだと思います。頑張っただけチャンスは広がります。勉強でも、部活動でも、簡単に妥協することなく、失敗を恐れずに挑戦を続けて、自分の可能性を最大限まで引き出してください。地道に努力を重ねて、高くて厚い壁を破り、一回りも二回りも大きく成長してほしいと思います。

三つ目です。ここまで話した二つのこととも関係が深いのですが、もしかすると、この三つ目が一番大切なことかもしれません。「目標に向かって頑張ってほしい」、「失敗を恐れずに挑戦してほしい」と言いましたが、もしも頑張り過ぎて心や体が疲れたときや、辛いとき、苦しいときには、迷わず、ためらうことなく、一度立ち止まってゆっくり休んでください。そんな時は家族や友達はもちろん、我々もしっかり支えます。

そして、心や体の疲れが癒えたら、また挑戦を始めましょう。

今、お話した三つのことを頭のどこかに置いて、高校生活を送ってください。我々教職員全員が全力でサポートすることを約束します。

最後に、皆さんは、むつ・下北はもちろん、青森県の宝です。田名部高校での様々な経験が、簡単には壊れない「逞しくて柔軟な心と体」をつくってくれることを願って、また心から期待して式辞といたします。

令和七年四月六日

青森県立田名部高等学校

校長 山田 昭